

長久手市行政評価票

事業番号	18	事業の名称	セーフティステーション・防犯パトロール事業	担当部署	部	課
					市民生活部	安心安全課

事業の目的・概要	(目的) 犯罪の防止及び交通安全対策に努め、住民意識の高揚を図ることにより、安心で安全なまちづくりを推進する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	日進市ひまわりステーション : 赤池駅前 H17.4～、日進駅前 H18.11～、月13～21時、火～金14～21時、 みよし市安心ステーション : H22.11～、9～17時、土日祝・12/29～1/3休、 警察官OBを含む3名を交通防犯指導員として配置。青パト1台 幸田町地域安全ステーション:H20.4～ 平日7～17時、青パト1台
	(概要) セーフティステーションに職員を配置し、防犯や交通安全に関する相談・指導などの窓口対応及び青色回転灯付きパトロールカーでのパトロールを行う。また、子どもを巻き込む犯罪を防止するため、下校時間帯を中心に学校、公園の周辺及び通学路を青色回転灯付きパトロールカーで、防犯広報を行いながら市内パトロールを行う。 ・セーフティステーション事業 開所: 平日 午前10時～午後10時、土日祝日 午後1時～午後10時、年末年始を除く361日間。 ・防犯パトロール事業 セーフティパトロール(午後1時～午後10時の間に昼間・夜間の2回、市内を3地区に分け、セーフティパトロールカーにて巡回)及び、子ども安全パトロール(平日概ね午後2時から4時過ぎまで(下校時間帯)に、市内を3地区に分け、子ども安全パトロールカーにて巡回)を実施。		

事業期間	事業開始年度	平成17年度	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民					うち	一般財源	12,834	12,982	12,723	12,502		16,561
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	住民の防犯・交通安全意識の向上。児童が街頭犯罪に巻き込まれるのを防ぐ。						国費・県費						
							地方債						
					受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価								
		4月～	7月～	10月～	1月～				H23実績	H24実績	H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
		H24実績			H24目標値													成果 事業費					
① セーフティステーション事業	全市民	[進捗表]				住民の防犯・交通安全意識の向上を図る。	相談受付・指示事項等延べ件数 2,101件(ステーション223件、パトロール1,878件)	刑法犯の犯罪発生状況	1,167	962	1,050	件	前年実績(平成23年)からの減少	12,834	12,982	12,723	12,502	16,561	防犯交通囁託員報酬11,291、ガソリン代461、光熱水費179	A	パトロールを中心に職員配置を取っているが、警察官OBとしてのスキルを多方面に活用し、交通安全教室、防犯講習会等の事業への積極的な登用や防犯ボランティア団体活動等へ積極的に参加、指導・助言を行う。		
② 防犯パトロール事業	全市民	[進捗表]				市内の街頭犯罪の防止及び児童が街頭犯罪に巻き込まれるのを防ぐ。	パトロール実施日数 年361日、子ども安全パトロール実施日数 年218日	刑法犯の犯罪発生状況	1,167	962	1,050	件	前年実績(平成23年)からの減少							※上記事業費に含む	A	パトロールを中心に職員配置を取っているが、警察官OBとしてのスキルを多方面に活用し、交通安全教室、防犯講習会等の事業への積極的な登用や防犯ボランティア団体活動等へ積極的に参加、指導・助言を行う。	
③		[進捗表]																					
④		[進捗表]																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	